

あ 議会だより

つなまち

2018年4月20日発行

No.208

Tsunan-Town

町民を守る。

3月定例会 2/28~3/16

町長施政方針	02
平成29年度補正予算・平成30年度予算	03
一般・特別会計討論	04~05
平成30年3月議会・臨時議会採決結果・人事	06~07
総括質疑	08
一般質問(町政を問う)	09~13
委員会レポート・事務局人事	14~15
町民登場 この人に会いました	16

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

十日町地域消防本部 新はしご車
(屈折はしご付消防ポンプ自動車)

平成30年度 町長施政方針

平成30年第1回議会定例会が2月28日から3月16日まで開催されました。町長施政方針の表明がされ、9人が一般質問に立ちました。平成29年度補正予算を審議し、活発な議論がされました。会期中に合同常任委員会が開かれ、平成30年度予算案について審査を行いました。町長施政方針と平成30年度予算について、総括質問7名、討論4名が行い、病院事業の設置等に関する条例改正などや教育委員会教育長の同意、平成30年度予算を可決しました。議員発議による意見書3件を可決し、閉会しました。

昨年、春先から初夏にかけて寒暖の差が大きい異常気象に始まり、夏場から秋にかけての長雨の影響で、稲作・畑作ともに著しい品質の低下と収穫量の減少となり、農業を基幹産業としている当町にとつては大変厳しい一年となりました。

さて、町政運営につきましては、私は町長就任以来、「強く、どこよりもやさしい町」を基本理念として掲げ、自らの足で着実に歩き続けていける町づくりのために各種施策を進めてまいりました。

30年度は、津南病院の抜本的な改革をはじめ、保育園の統合に向けた準備、津南地域衛生施設組合のあり方、公共交通体系の見直し、国による減反政策の廃止に伴う津南町農業の推進、旧中津小学校の活用など主要課題の具現化に向けてのスタートの年となります。主な施策の概要について申し上げます。

総務関係では、地域防災計画を全体的に見直し、町民の安全、安心の確保に努めてまいります。

福祉保健関係では、社会福祉関係で除雪作業が困難な要援護世帯の除雪援助の範囲を一部拡大いたします。

子育て支援・少子化対策の関係では、妊産婦医療費、特定不妊治療費、子どもの医療費の助成を実施するとともに、産婦及び乳児への産後ケアサービスへの助成等の充実に努めます。

国民健康保険は平成30年度から、県が財政運営を担い、国保の運営を市町村とともに行うことになりました。国保会計の財政は厳しい現状ですが、保険料は据え置きといたしました。

農政関係では、今年度から米の生産調整が大きく変わり、米価の変動も予測が出来ない状況にありますので、収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)への加入や平成31年度から開始される収入保険制度への加入について検討をしていただきたいと思っております。

津南町認証米につきましては、30年度は堆肥の投入補助を創設し、稲の健全化により異常気象による影響を最小限に抑え、認証米の生産拡大へ繋がるよう支援してまいります。

農地関係では、新年度事業化される農家負担を求めない農地中間管理機構関連基盤整備事業の取り組みについても進めてまいります。

移住・定住・交流事業関係では、「津南町定住促進助成事業」「津南町空き家改修事業」などを創設し、情報発信を積極的に進めてまいります。

大地の芸術祭第7回展では、クローブ座に隣接して建築される「香港ハウス」や辰ノ口トヤ沢には前回展の「土石流のモニメント」と併設して「サイフォン式導水のモニメント」など、新たな作品が展開される予定です。

建設課関係では、国道117号「灰雨バイパス」の地質調査及び詳細設計が継続して進められます。

国道405号の「旭町通り」歩道整備事業、「見玉から清水川原」間の拡幅・防雪工事と前倉地内の拡幅工事も継続して進められます。

町道整備では、改良工事4路線、中深見堂平線改良舗装工事も実施設計に着手いたします。

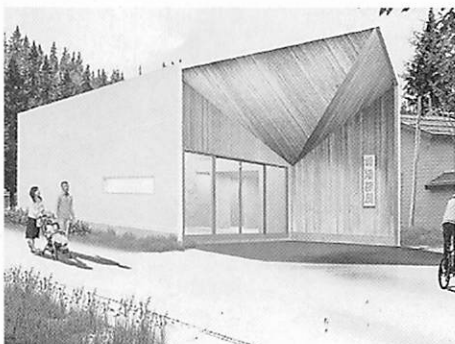
教育委員会関係では、子育て支援の核となる保育園の整備

については、施設と機能及び整備予定地の検討を行い地域の合意形成に努めてまいります。

文化財関係では、「苗場山麓ジオパーク」の拠点施設として計画を進めていた旧中津小学校は、平成30年度から7年間で改修することになりました。

病院事業では、町の単独赤字補てんについては、当面の目標として1億5千万円程度として、平成30年度は院外調剤薬局を導入することにしており、

課題が山積してありますが、町民の皆さまの生活や地域社会を守るため、関係各位のお力添えをいただきながら、健全財政を堅持しつつ、職員ともども与えられた使命に向かい、全力で邁進したいと思っております。



香港ハウス

平成 30 年度予算

平成30年度予算

一般会計 64億9,800万円

重点施策の主な項目

総務費

定期バス運行補助、地域公共交通
運行事業 7,643万円
地域おこし協力隊設置事業
1,715万円

ふるさと支援まちづくり

寄付金事業 2,569万円

民生費

要援護世帯除雪事業

944万円

障害者介護給付費

2億91万円

高齢者コミュニティセンター

372万円

衛生費

保健センター修繕事業

574万円

不妊治療費助成事業

140万円

子ども医療費助成事業

1,967万円

津南健康増進施設管理運営事業

4,807万円

町立病院補助金出資金
3億2,209万円

寝たきり運動事業

941万円

農林水産業費

農産物認証制度補助土づくり
事業補助

1,355万円

中山間地域直接支払交付金事業

1億1,762万円

多面的機能支払交付金事業

1億5,538万円

棚田地域等保全整備事業

1,277万円

商工費

大地の芸術祭事業

1,501万円

移住定住促進助成事業

260万円

土木費

橋梁改修事業

7,200万円

町道改良舗装・修繕事業

1億2,750万円

除雪機械購入事業

4,410万円

住宅改修事業補助

890万円

町営住宅整備事業

8,264万円

消防費

町地域防災計画策定事業

387万円

冬期集落保安要員設置事業

442万円

十日町広域事務組合消防費

負担金 2億7,567万円

教育費

適応指導教室運営事業

631万円

みらい教室委託事業

82万円

特別支援教育振興事業

5,099万円

学校関連自動車購入事業

3,532万円

ジオパーク推進事業

2,512万円

特別会計

国民健康保険特別会計

9億9万円

後期高齢者医療特別会計

1億2,067万円

介護保険特別会計

17億6,543万円

簡易水道特別会計

1億7,705万円

下水道事業特別会計

3億7,755万円

農業集落排水事業特別会計

2億8,437万円

病院事業会計

17億8,689万円

平成29年度補正予算

一般会計

補正額 ▲8,965万円

総額 71億2,495万円

主な内容

障害者就労継続支援給付費等 ▲2,630万円

農業集落排水事業特別会計 ▲1,987万円

繰出金 ▲1,987万円

下水道事業特別会計繰出金 ▲2,385万円

機構集積協力金交付金 ▲761万円

特別会計

国民健康保険特別会計

補正額 ▲9,583万円

総額 11億8,530万円

後期高齢者医療特別会計

補正額 ▲99万円

総額 1億1,277万円

介護保険特別会計

補正額 23万円

総額 19億3,734万円

簡易水道特別会計

補正額 1,235万円

総額 1億5,851万円

下水道事業特別会計

補正額 ▲2,002万円

総額 3億6,016万円
 農業集落排水事業特別会計
 補正額 139万円
 総額 2億9,084万円

平成29年度
 補正予算
臨時議会

一般会計

補正額 2億1,759万円
 総額 73億4,255万円

主な内容

ふるさと支援まちづくり基金
 積立金 100万円

介護保険特別会計繰出金

▲1,662万円

町立津南病院補助金

2億2,825万円

ニユー・グリーンピア津南運営

支援基金積立金 223万円

特別会計

後期高齢者医療特別会計

補正額 111万円

総額 1億1,388万円

介護保険特別会計

補正額 ▲1億3,300万円

総額 18億434万円

病院事業会計

補正額 ▲1億862万円

総額 16億4,342万円

一般・特別会計討論

一般会計

反対討論

栗原 洋子

国の医療費削減政策により十日町・津南地域は入院ベッドが33%も減少し医療崩壊の危機と言わざるを得ない。住民の命と健康を守るための大事な津南病院は、住民全体の意見反映がない中、病床縮小、将来診療所もありえるとの考えもにじませている。農業では国は大規模化一辺倒だ。人口減少に拍車をかけ町の存続が危ぶまれる。農業立町であり国の言いなりでなく、小規模農家、家族農業を支え、正規雇用を増やし、子育て若者支援を充実させるべきだ。またジオパーク、大地の芸術祭などに多額の税金を投入している。町民の意見を反映した中で観光全体を考えると政策が必要だ。一方、深見坂の道路改修など町民の暮らしへの前進面もあるが予算全体としては、国の地方切り捨ての方向に追随したものである。国の言いなりでなく悪政からの防波堤となり町民に寄り添う町政にすべきである。

賛成討論

石田タマエ

強くてどこよりもやさしい町づくりを進める中、農業施策では早くから、「安心・安全の津南米」を旗印に津南町認証米や、畑作物の津南ブランドの開発に各種補助制度を継続して、消費者に選ばれる米作り、野菜作りへの取り組みがなされた。このことは津南農業の基盤を確立することと期待する。観光振興ではジオパークの拠点施設を整備し、観光と学びの両面から活用を図っていくことで価値の高い文化財の普及啓発に期待する。また、大地の芸術祭開催で津南の魅力を広く発信できると確信する。一方、やさしい町づくりでは、要援護者へ除雪支援を拡大することと、より安心感が高まる。懸案であった公共交通は平成32年度を目途に見直しがされることに大きく期待する。なお、今後の課題として、保育園統合や津南病院の抜本的な改革が挙げられる。上村町長は年度途中での任期満了となるが、施政方針を当局職員で共有し「強くてどこよりもやさしい津南町づくり」の継承を願って賛成討論とする。

国民健康保険特別会計

反対討論

藤ノ木浩子

国民健康保険は、今年度から「都道府県化」となり、県が保険者となって市町村を統括・監督する仕組みに変わる。国保の広域化によって多くの低所得者がいるにもかかわらず保険料が高いという構造的な問題が解決するのかわからない。その一つに町の国保料は、昨年と同様据え置きだが、県が示した標準額に照らせば、約2万円近く値上げとなる。一般会計繰り入れ解消も盛り込まれていて、津南町にとって住民負担増の制度だ。二つ目に全国知事会は、協会けんぽ並みの保険料負担にするために、1兆円を国に財源要求したが、結果3,400億円で大きくかい離している。こうした状況にあっても、いかに住民負担を軽減し暮らしを支えるかが重要と考える。30年度の一人当たり年平均保険料は96,800円。住民にとって重い負担感はぬぐえない。一般会計からの法定外繰り入れを減らさず、一世帯一百万円の引き下げに約1,400万円追加し負担軽減を図るべき。

介護保険特別会計

反対討論

藤ノ木浩子

介護保険は、政府の社会保険費削減のもと、サービスの切り下げと負担増が行われている。反対理由の一つは、介護保険料の値上げである。今期も標準額が6,000円から6,400円に引き上げられた。年金からの天引きで高齢者の暮らしを脅かしている。二つ目に介護サービスを使えないように切り下げが行われている。生活援助サービスは訪問回数が一定数超えると届け出が必要となり、利用制限になりかねない。介護保険からの「卒業」を目指す自立支援を重視した成功報酬加算も導入されるが、自立の押し付けでなく、安心して過ごせる場であることが重要である。三つ目に介護報酬の人材不足である。介護報酬を引き上げて事業所が安定的に運営できることと労働者の処遇改善を進めることがまだまだ必要である。津南町は在宅サービスの利用料軽減と在宅介護手当を長年継続していることとは評価するが、負担増と給付削減では安心して利用できない。

賛成討論

石田タマエ

平成30年度は第7期事業計画のスタートの年であるが、社会保障の財源確保が国の大きな課題であり、2025年問題が目の前に迫ってきている。津南町は、介護給付費は新潟県内ではいちばん高い町である。これを賄う財源として、住民が納める介護保険料が平成30年度は保険料基準額が月額6,000円から6,400円に上がることはやむを得ない値上げと考える。今後の課題として、介護予防、並びに介護度の重症化を抑えるための施策が最も重要である。当町では、クアハウス津南等を活用した各種介護予防事業を展開しているが、今後更に参加者を増やすことや、介護予防に対する啓発活動を展開することが重要だと考える。1日でも長く自分の力で生活ができる健康寿命の延伸を望んで、賛成討論とする。尚、介護保険制度は単独自治体で解決できることではないので、本討論で前段の反対討論は、制度批判であり適当ではない。

病院事業会計

反対討論

藤ノ木浩子

反対理由の一つは、一般病床を62床から45床に削減したことである。経営改善の第一は、医師・看護師確保だとする経営診断書に反し、医療スタッフは減り続けている。療養病床は看護師不足により、やむを得ず休床にしたが、今度是一般62床では看護師を32名確保しておかねばならない。45床なら23名ですむ、患者も少ないから実態に合わせてと説明された。縮小縮小を推し進める道が経営改善となるのか。二つ目に病院内に20床の老人福祉施設をつくることは反対である。その必要性と経営見通しもわからない。どうしても必要の声があれば、町内の法人にお願いしてもいいのではないか。十日町・津南地域はベットが約4割も減る医療崩壊の危機である。町長姿勢は魚沼基幹病院や十日町病院がある、とそちらに向いていないか。縮小の方向は診療所になりかねない。看護学校も設立される。公立病院として今ここで踏み張り医療を守らねばならない。

賛成討論

風巻 光明

損益改善の抜本対策について町長より諮問を受け12月に答申を提出したところである。その内容は、院外薬局の導入、通所リハビリの拡充、実態に即した一般病床数の変更と地域包括ケア病床の設置など10項目である。外来診療科の見直しについては、急激な変化は住民の不安をおおきく、医師確保の課題にも壁をつくることになるため、ほぼ現状どおりとし、年度毎に実情を分析し住民ニーズにあつた診療科の構築を行う予定となつている。また看護師不足対策については30年には就学支援制度等の効果が表れ、5名の新人看護師を確保できたことは、大きく評価できる。30年度予算は新たなスタートを切るわけだが、引き続き院長のリーダーシップのもと、病院に勤務する人全員が損益意識をもつて行動し、津南病院と地域間の連携、自立した病院体制を確立することなど、この難局を打破できるようなお一層取り組まれることを期待し、本病院会計予算に賛成する。

平成30年3月議会採決結果

議案番号	件名	表決状況											採決結果		
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	恩田稔	栗原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一	藤ノ木浩子		吉野徹	桑原悠
承認第1号	専決処分の承認について（平成29年度津南町一般会計補正予算（第9号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
承認第2号	専決処分の承認について（平成29年度津南町一般会計補正予算（第10号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第1号	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第2号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第3号	津南町国民健康保険事業財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第4号	津南町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第5号	津南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第6号	津南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第7号	津南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第8号	津南町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第9号	津南町医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第10号	津南町ひとり親家庭等の重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第11号	津南町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第12号	津南町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	可
議案第13号	工事請負契約の変更について（津南小学校増築工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第14号	平成29年度津南町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第15号	平成29年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第16号	平成29年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第17号	平成29年度津南町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第18号	平成29年度津南町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第19号	平成29年度津南町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第20号	平成29年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第21号	財政調整基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第22号	平成30年度津南町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可

議案番号	件名	表決状況												採決結果	
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	恩田稔	栗原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一	藤ノ木浩子	吉野徹		桑原悠
議案第23号	平成30年度津南町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第24号	平成30年度津南町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第25号	平成30年度津南町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第26号	平成30年度津南町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第27号	平成30年度津南町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第28号	平成30年度津南町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第29号	平成30年度津南町病院事業特別会計予算	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
同意第1号	津南町教育委員会教育長任命の同意について	賛成多数で同意													
請願第1号	高速バス十日町―新潟線の存続を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第1号	高速バス十日町―新潟線の存続を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
陳情第1号	核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第2号	核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
陳情第2号	障害者の暮らしの場の充実を求める意見書の提出に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第3号	障害者の暮らしの場の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
平成30年第1回臨時議会採決結果															
同意第2号	津南町教育委員会委員任命の同意について	全員賛成で同意													
議案第30号	財政調整基金の処分変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第31号	平成29年度津南町一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第32号	平成29年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第33号	平成29年度津南町介護保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第34号	平成29年度津南町病院事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決等の場合 否＝賛成少数で否決等の場合）

●表決状況の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除：議長は表決に参加できません）

教育委員会 委員任命について



太平 義弘（中深見）

◆62歳
◆S54.3 新潟大学教育学部卒業

H23.4～H28.3 中学校長
H29.4～現在 津南町保護司
H29.4～現在 津南町スポーツ少年団副本部長

教育委員会 教育長任命について



桑原 正（船山）

◆67歳
◆S48.3 新潟大学教育学部卒業

H12.4～H20.3 小学校長
H20.4～H23.3 津南小学校長
H23.4～現在 津南町教育委員会教育長

人
事

総括質疑

人口減少対策

中山 弘

問 新規就農者の受入対策の拡大はあるか。

町長 応募希望者には面接し受け入れる。定住促進助成事業や空き家改修事業等で移住定住される方を支援する。

問 雪国観光圏との連携は。

町長 湯沢駅に設置しているワンストップ窓口を、インバウンド対応のインフォメーションセンターとしての機能強化を行う予定だ。

問 芸術祭の作品修復制限は。

町長 総合的に修復維持管理する作品数はほとんど変わらない。

堆肥投入補助の増額を

大平 謙一

問 魚沼米の評価が降格した。津南の認証米の評価にも関わる。気象の影響を最小限に抑える施策として堆肥の投入に補助を予定しているが今年度予算は足りるのか。

町長 不足が生じた場合は補正で対応する。

問 新年度事業化される農家

負担を求めない基盤整備を農家にどう周知説明するのか。
町長 まだ要領が決まっていない。事業の詳細及び実施の可能性について、精査・検討する。

公共施設等管理計画について

風巻 光明

問 昨年「津南町公共施設等総合管理計画」が報告されたが、施政方針や予算に、どのように反映されているのか見えない。その計画と予算との整合性について問う。

町長 当町は少子高齢化により公共施設の使用状況やニーズの変化が予測される。そのため、中長期的な視点で、公共施設の更新、統廃合、長寿命化を図っていく。財源確保のため行財政改革を進め、施設毎に今後の方針を打ち出したいと考え、現時点では予算に反映していない。

保険料の軽減策を

藤ノ木 浩子

問 会社員が加入する被用者保険の保険料は子どもの人数に影響されないが、国保は子どもを含め世帯の加入者数に応じて賦課される均等割がある。全国知事会も国に要請

しているが、子育て支援の観点から子どもに係る保険料の軽減ができないか。

町長 高校生以下の人数は197人。仮に均等割を軽減すると、不足した保険料を他の方法で賦課しなければならぬ。子どもの医療費助成で支援しているので考えてない。

医師確保の具体策は

桑原 悠

問 津南病院は常勤医師の確保、つまり最大の課題である人件費を避けては経営改善が進まない。具体策は。

町長 慈恵会医科大の訪問をはじめ、津南町出身の医師へのアプローチ、十日町病院と連携し総合診療内科医受け入れの取組、糖尿病内科学会の教育施設認定に向けた取り組みなどを院長、副院長と綿密に連携し対応していく。また、慈恵の第三病院が総合診療に力を入れており、今年はそのちらにも訪問予定である。

7年間の工事継続費は

村山 道明

問 旧中津小学校改築工事（文化財展示館）が7年間、5億6千万円の一括工事継続

費で上程された。第1期2期と区分してあまり長期化しないようにすべきではないか。
町長 本事業は、実施期間が長期であると共に事業費が高額である。地方自治法施行令により事業の進捗状況に関する調書を議会に提出しなければならず、現況を理解頂きながら事業を進めるためである。

病棟看護師の勤務実態は

桑原 洋子

問 病院改革を進めるに一番重要な看護師の勤務実態を伺う。過去3年間の平均超勤時間が実態と合っているか。合わないならなぜかその理由を問う。

町長 超勤時間月平均は、平成26年1・2時間、27年1・2時間、28年2・5時間で、ほとんど超勤はないということ。

病院事務長

病棟師長が命令権限者で、総師長が確認する。私は超勤の詳細を知らない。実情と整合性が取れないなら適正にするべく努力していきたい。





町政を問う!!



一般質問(9議員)

- 1** 河田強一 議員 (9 ページ)
1. 収入保険制度、農家への説明は
2. 農業大規模化、法人化への施策は
- 2** 半戸義昭 議員 (10 ページ)
1. 人口減少への歯止めは
- 3** 石田タマエ 議員 (10 ページ)
1. 更なる文化施設必要か
2. 保育園統合計画は
- 4** 村山道明 議員 (11 ページ)
1. 津南病院赤字削減策は
2. 待機児童、保育士確保は
3. 文化財展示館とは

- 5** 大平謙一 議員 (11 ページ)
1. 旧中津小改修は必要か
- 6** 藤ノ木浩子 議員 (12 ページ)
1. 地域医療と津南病院の役割は
- 7** 中山 弘 議員 (12 ページ)
1. 人口の将来展望は
- 8** 桑原洋子 議員 (13 ページ)
1. 病床削減、町民の命守れるか
- 9** 吉野 徹 議員 (13 ページ)
1. H 30 年度予算ベストか

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

平成31年開始の「収入保険」町の考えは

農業者委員会会長 ナラシ対策では農産物が限定される。収入保険では農業者自らが生産している農産物の価格変動、収入減など、販売収入全体が対象となる。どちらを選択する

町長 先行行われた転作説明会で概略をお知らせした。農業共済組合では地域から要請があれば説明に伺うとのことである。町としては説明会を行う考えはない。

町長 現行のナラシ対策との違いは。

新たな制度、農家への説明は
町長 この制度は農業共済組合が主体で、受付開始はこの秋口を予定しているとのことだ。農家へは事業の内容がほとんど知らされていないのが現状だ。説明会などの考えは。

町長 先行行われた転作説明会で概略をお知らせした。農業共済組合では地域から要請があれば説明に伺うとのことである。町としては説明会を行う考えはない。

新たな制度、
農家への説明は



河田強一 議員



雪下人参収穫

か、経営形態、経営規模、経理方法など農業者によってさまざままで、一概に判断するのは難しい。

農業の大規模化、法人化に支援を
町長 農業者数の減少のなか、若い農業者の間で、大規模化、法人化を目指し検討を重ねている。減反もなくなり、遊休農地の増加が考えられる。町は先頭に立って支援を。

町長 支援策として30年度から事業化される農地中間管理機構関連農地整備事業がある。要件を満たせば農家負担無しで基盤整備を行える。

人口減少に歯止めは

町長 人口減少対策が新年度においても最重要課題と認識している。その対策として保育料の軽減、子ども医療費への助成、保小連携などによる教育力の強化、移住・定住促進事業、しあわせ♡応援隊による婚活支援、新規就農者支援など人口減少に歯止めをかけるべく、様々な施策を推進していくことになっている。



増え続ける空き家

1万人を切った津南の人口対策を問う



半戸 義昭 議員

問 町総合振興計画では、22年後の2040年に7300人の人口維持を目標としているが、現状では難しいのではないか。人口減少対策として、婚活支援、子育て、教育など、どこの自治体にも負けない施策が必要と考えるが新年度では。

町長 若い女性に魅力を持つてもらえるような町とは、どのような町なのか、キーポイントである。子育て支援、教育支援など様々な施策を網羅し総合的に考えなければならぬ。

問 20歳から39歳までの若年女性の増減が人口減少においての大事な指標である。若い女性が魅力を持てるような町づくりが何よりも大事と考えるが。

町長 現在、津南町においては求人は多くあるが、働いてくれる人が足りないというのが現実である。

問 人口減少対策についてのアンケートでは働く場づくりが1番になっているが。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

早急に保育ビジョンを示すべし

町長 なじよもんは体験学習施設として、旧中津小学校はジオパークビジターセンターとして観光機能を持たせながら価値の高い文化財の普及啓発施設としての目的を持たせる。なじよもん併設も考えたが、建設経費が高むことと、水を引けないことが決定的な理由である。クローブ座は大地の芸術祭の基幹施設で



保育園での交通安全教室

問 1万人を割った当町がさらに旧中津小学校を改修することは人口減少に歯止めが利かない現状で、後年度負担がますます大きくなっていく。箱物を増やさず、なじよもん併設できないか。また、上郷クローブ座にはいつまで多額の管理費を出すのか。

教育長 現在保育ビジョンを構想中で、具体的な構想がまとまり次第、保護者説明会を考えている。

自治体規模からさらに文化施設整備が必要か



石田 タマエ 議員

問 平成26年3月に町内保育園の2園構想が示されたが進んでいない。早期保育や延長保育の実施見送りや近年の保育士不足、さらに、未満児保育の増加への対応等課題が増えてくる一方である。早急に保育ビジョンを明確に示し、ゴールに向けた取り組みが必要だと考えるが見解は。

保育ビジョンを示し、リーダーシップを

あり、津南ブランドを世界に向けて発信できる施設を目指している。クローブ座の管理委託料をいつまで支払うかは今のところ未定だ。

病院赤字の50%削減の策は



村山道明 議員

赤字を半減する 方策を明確に

問 病院審議会の答申について、先般町は対応策を示した。その方策を具体的に伺う。

町長 ①現在5億円の赤字を50%削減し、単独補填を1億5千万円にする目標に対する対応策は。②院外薬局の導入時期はいつか。

町長 ①病床数を45床として推計すると、1億円程度が交付税措置される。現在の赤字額の半分約2億5千万円とすることを当面目標とする。今後の補填額は、財政状況を考慮しながら決めたい。②院外薬局導入は、平成30年度中の早い時期を想定している。

待機児童・保育士確保は

問 保育園整備答申から4年。

いまだ新保育園建設に目途がたっていない。北部、こぼと、中津3園保護者アンケートでは、統合に前向きな結果と受け取ったが、建設時期はどうか。また、新年度保育園入所状況から、臨時保育士を募集していたが実情は厳しいか。

町長 保育園長と検討しており、できるだけ早い時期に保護者へ説明したい。現在保育士3名保育助手1名を募集中。有資格者の応募が少なく厳しい状況である。このままだと、新年度待機児童の発生が懸念される。引き続き募集をかけていきたい。

文化財展示館とは

問 十分に審議をつくして、決定されたのか。

町長 町の身の丈にあった事業規模で、どこよりも優れたものを造ることで7年の整備計画とした。



文化財展示館（旧中津小学校）

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

埋蔵文化財センター計画は



大平謙一 議員

旧中津小改造の 必要性について

問 文化財収蔵の一元化と言いつながら、なじよもと民俗資料館はそのままとはなぜか。

町長 民俗資料館にある国重要文化財を旧中津小に入れることの国の許可が得られなかった。

問 なじよもんの場所に建設すべきと考えるがどうか。

町長 新しく建設すると費用が多額になり、補助金もない。

問 計画通り改修できた時の経済効果は。また観光への効果は。

町長 ひまわり広場との関連で旧中津小に滞在する時間が長くなることによって飲食業や宿泊業にプラスの影響がある。

る。また秋山郷を紹介する表玄関の役割やジオパークを紹介するガイド機能などがある。

問 年間経費は。

町長 類似施設の経費から推察しますと300万400万円と思う。

問 入館料で経費は賄えないか。

町長 教育施設という位置づけで入館料は取らない。

問 上郷地区に香港ハウス建設について地元から、不安の声があるが。

町長 香港のアーティストが滞在しながらアート作品を制作発表する場。香港との交流の拠点。物流人材の環の広がり期待している。



ジオパークの拠点施設（なじよもん）

医療崩壊の危機では



藤ノ木 浩子 議員

町長としての責任をどう考えているのか

問 十日町・津南地域は、津南病院の52床休床を含め、194床も入院病床が減少している。さらに4月から上村病院45床廃止。その上津南病院が45床にしたら、この地域は27年比で33%も減少する。これは医療崩壊の危機である。上村町政となり、津南病院は医療スタッフが減る一方で、他会計繰入は3億円台から5億1千万円に増えている。町が依頼した経営診断書を棚上げし逆のことをやってきた、その結果が出ている。町長として責任を果たしていないのではないか。

町長 私は27年に奨学金制度を設け、看護学校も県に働きかけてきた。看護師は今年5



町民の命と健康を守る大事な病院

町長 今のまま赤字を出し続けていけば、病院を消滅させないと津南町の運営が成り立たなくなる。有床診療所は充分検討した。

問 病床を減らし収益を減らす道をつけるべきではない。診療所にしたいと思っていないのか。

名決定している。基幹病院が設置されたのも、私自身議論の表れだろうと思っている。十日町病院を中核として計画させていたいただいたのも一緒に働いた成果と思う。何を指して町の医療に責任を果たさなかったというのか、私は良くわからない。至らないところは、素直に反省しお詫び申し上げたい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

人口の将来展望は



中山 弘 議員

継続施策から新計画へ

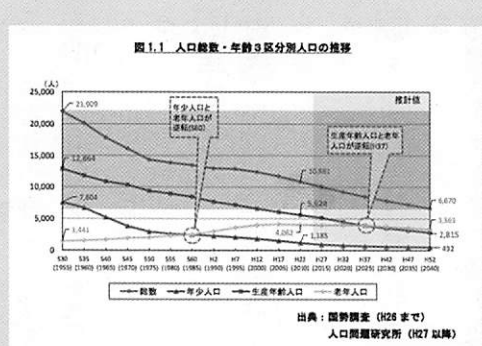
問 地域おこし協力隊設置事業で4名分計上してあるが、人数を増やせないか。

町長 地域に設置する場合、地域主体の取り組みが前提となり、隊員に何を期待し求めるのか認識することが大切である。闇雲に増やすのではなくプランを立て募集することが重要で補正予算で対応する。

問 友好交流都市との親睦や国際交流も人口増加の一策だ。町の役割を聞く。

町長 狭山市と津南町の自主防衛組織のワークショップや懇親会で住民同士の交流を深めた。上郷地区に香港ハウス建設の予定で香港との交流やビジネスチャンスが期待できる。

問 職業選択の枠が狭すぎる町で若者の夢や希望、後継者



人口推移グラフ

町長 津南町の基幹産業は農業であり、国営事業の基盤整備が進み農業所得の増大により生活水準は大きく向上したが、新たな企業進出は考えづらい。国、県と連携し、農業の規模拡大や集積複合経営を目指す若者への施策を講じる。

問 「郷土愛」は地域の環境で育つが、さらなるUターン教育の考えは。

教育長 町づくりは人づくりの基本理念のもと「育ネットつなん」を立ち上げた。ジオパークをステージにしたキャリア教育は類を見ない取り組みであり、津南を愛し誇りに思う子どもが育つよう取り組む。

病床削減は生存権を脅かす

国や県、関係機関に要請する。津南病院審議会から昨年12月に答申をいただき病床数は62床から45床にさせていた

【町長】自治体病院への配慮を
守る防波堤になるべきだ。
悪政から町民の命と暮らしを守る防波堤になるべきだ。
地域医療を守り、政府による悪政から町民の命と暮らしを守る防波堤になるべきだ。
共産党議員団は、1月政府に出向き町立病院の現状を訴えてきた。ベット削減ではなく地域医療を守り、政府による悪政から町民の命と暮らしを守る防波堤になるべきだ。

命と暮らしを守る
ためには



栗原 洋子 議員



町民の命がかかる津南病院

【副町長】管理職が一人ひとり見るのは非常に困難、班長からも心配りをしていただきたらと課長会議で話している。
【病院事務長】時間外手当は支給していると認識している。

労働実態、把握してるか
【町長】過労死などの悲劇を繰り返さないために、国は強い意志で実行すると期待する。
【副町長】病院含む町職員の労働実態の把握、管理指導など課長会議などどのように検討しているのか。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

町財政について

今年度予算は
ベスト予算と思えるか



吉野 徹 議員

【町長】平成30年度予算が提出された。一般会計予算が64億9800万円、そのなかで、町自主財源である経常予算17億7800万円、昨年より9600万円減、自主財源の約2.6倍が依存財源である。また、財政調整基金からは昨年1億9000万円が繰り入れ、30年度も1億7200万円の繰り入れ予算である。地方債残高5億3700万円、公債費約5億5千万円での記載である。

費用対効果、住民の利便性、将来展望、既存施設の維持管理費等々を慎重に見極め予算計上した。財源確保には、確実・堅実な財政シミュレーションが必要である。

町が自由に使える一般財源である地方交付税についても6000万円の減収予算である。将来の償還金（公債費）が心配される。
地域の社会状況（少子高齢化、過疎化）、国県との財政事情、様々な要因があると思われ、将来に向かつて新しい財を捻出していかなければと思われる。任期を迎えた町長だが再出馬を念頭に入れたの意見を伺う。

【副町長】30年度予算は、総合振興計画など各種計画との整合性を図りながら、財源を配分した。

平成30年度 津南町予算

【主な歳入】

- 町税 10億6,046.8万円
(前年度10億5,499.1万円)
- 地方消費税交付金 1億7,069.4万円
(前年度1億6,296.1万円)
- 地方特例交付金 196.3万円
(前年度194.1万円)
- 地方交付税 29億9,000万円
(前年度30億5,000万円)
- 繰入金 2億5,512万円
(前年度3億4,492.5万円)
- 繰越金 1億5,000万円
(前年度1億5,000万円)
- 町債 4億8,780万円
(前年度6億7,320万円)

発議案

発議案①

高速バス十日町―新潟線の存続を求める意見書の提出について
越後交通（長岡市）は廃止を検討している高速バス同路線の運行を9月末で終える方針を示した。十日町―新潟線は、津南町民や沿線住民の生活路線であり、運行を存続することを強く要望する。

↓全員賛成

発議案②

核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について
平成3年に「核兵器廃絶平和の町」を宣言した当町は、日本政府に核兵器禁止条約を速やかに調印することを求める。

↓全員賛成

発議案③

障害者の暮らし場の充実を求める意見書について

多くの障害者と家族は、社会からの孤独と家族依存、老障介護等の現実の中で、生きる基盤となる「暮らしの場」の整備を国の責任で確保することを要望する。↓全員賛成

3点は採択され
意見書を国に提出します。

委員会レポート

Commission Report

総文福祉常任委員会

教育委員会との懇談会

◆とき 1月16日（火）
◆ところ 津南町役場
◆内容 第2委員会室

「育ネットつなん」を活用し保育園、小学校、中学校との連携による児童生徒の健全で安定した育ちの環境を整えるとした新年度方針の説明を受けました。

主な事業としては、津南小・津南中学校校舎の改修、スクールバスと給食配送車の更新やジオパーク拠点施設整備及び再認定取組みについて意見交換を行いました。
保育園・小学校統合アンケート調査結果は、北部・中津・こぼとの3園では半数近くが統合賛成でした。上郷では、小学校統合を不可欠とした意見が多数を占めました。わかば保育園は、統合反対が多数を占めた結果から全体では、慎重に判断する旨の報告がありました。

懇談を終えて

少子高齢化が進んでいる町、子育て支援が急がれ、行政手腕が問われる中で、議会が地域の声に添うべき支援策を提言していきます。
(担当 村山道明)

公共交通体系についての勉強会

◆とき 2月8日（木）
◆ところ 津南町役場会議室

◆内容 公共交通について学び地域交通体系をより良いものにしていくことを目的に、総務課より説明をいただきました。現状は、路線バス、町有償運送、乗り合いタクシー、スクールバスがあります。その中で補助金があるものと町単独支出のものがあることや、運送業者に全面委託しているものと、運転業務のみの委託があり、かなり複雑な交通体系となっています。平成28年度では路線バスを除く公共交通の利用者は児童を含んで延べ3万2144人の利用がありました。これらの公共交通への支出は平成28年度実績で、約1億370万円です、このうち国県の補助金な

ど6千370万円、町の実質負担額は約4千万円となりました。

勉強会を終えて

大変複雑な交通体系でありますが、移動手段の確保が今後生活の質を大きく左右することを考え、住民の皆様が安心して住みつけられる町にしていかなければならないと肝に銘じて取り組んでまいります。
(担当 石田タマエ)

産業建設常任委員会

津南町農協・津南町農業委員会との懇談会

◆とき 1月25日（木）

◆ところ 津南町役場大会議室
◆内容 農協営農部から、各事業の平成29年度の実績及び平成30年度計画についての説明、農業委員会の建議要望、議会の建築要望事項の内容について説明がありました。出席者からは、GAP認証取得への取り組み、農業の法人化と農業経営リーダーの育成、無人耕作機（仮称）の導入、農地の取得・貸借への規制などそれぞれの立場から意見交換が行われました。



JA・農業委員会との懇談会

特に世界に向けた農業の取り組みについて、2020年東京五輪・パラリンピックで選手村などへの食材の調達要件になる予定の農業生産工程管理（GAP）の認証取得は、津南の農産物をアピールする絶好の機会であり、積極的な取り組みが必要であるとの意見が出されました。

懇談を終えて

農業立町である当町の現状を踏まえ、それぞれの立場から今後目指すべき方向性について考え取り組む必要があると感じました。

（担当 吉野 徹）

道路除雪状況調査

◆とき 2月9日（金）

◆ところ 津南町役場 大会議室

◆内容 去る2月9日、産業建設常任委員会の2月行事「道路状況調査」を行いました。

当日は天候もよく、朝9時から上段地区、県道加用今新田停車場線、上郷川西地区、羽倉、越手、寺石、足滝の県道、町道を調査しました。降雪もなくきれいな道路状況でした。足滝地区の雪崩防止柵は、地元要望通り進めるよう要望しました。県道茶屋峠高原線、上野地区、町道田中集落についても、町除雪隊の努力がうかがえました。押付から川西地区、小島、巻下、鹿渡、下船渡本村に向かう町道についても当日はきれいに整備されていました。小島集落内の消雪パイプの水不足が心配であり、早急の対応が望まれます。

調査を終えて

町除雪隊の苦勞、努力に感謝であり、今後も克雪、道路除雪に（国道、県、町道問わず）町をあげて取り組む必要を感じました。

（担当 津端眞一）

事務局人事

お世話になりました



村山 詳吾
（地域振興課）
議会事務局
にお世話になりました。

「町民のための議会」を目指す津南町議会に、微力ながらお力になればと思いついてまいりました。

平成二十八年からは議会ホームページに定例会及び臨時会の議事録を公開し、情報提供がより多くされるようになりました。また、議会の活性化を図るため、議長と副議長の任期を申し合わせで二年とし、議員任期の折り返しである平成二十九年十一月に議長と副議長の選挙を行いました。

今後も町民皆様にとって「開かれた議会」となるようご期待申し上げます。最後に議員各位のさらなるご活躍を祈念し、異動の挨拶といたします。ありがとうございました。

よろしくお願いたします



高橋 昌史
（福祉保健課から）
このたび、議会事務局長と

いう重責を担うことになりました。どうぞよろしくお願いたします。

町では、現在「津南町まちひと・しごと創生総合戦略」等に基づき、地方創生をさらに深化させるため、各種施策に取り組んでいます。しかしながら、少子高齢化など当町を取り巻く環境は依然厳しく、病院ごみ処理、公共交通体系などの課題も山積しています。

今後は、これらの課題に対するより良い解決策を、住民・行政そして町議会が一体となり、力を合わせ導き出していくことがとても重要と考えます。

これらを踏まえ、微力ではありますが、円滑な議会運営に誠心誠意努めさせていただきますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



町民登場 この人に 会いました…



こ やま かず み
小山 和美さん (赤沢)

津南町の地域おこし協力隊員として5月に着任して、あっという間に半年が過ぎてしまいました。

協力隊に参加する事になったのは、田舎暮らしについて調べ始めた頃、知人（現在夫となった人）から津南町を勧められたのがきっかけです。

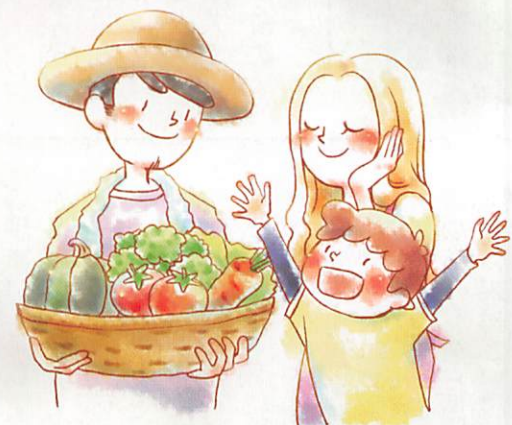
こちらに来てからは、夜型から朝型の規則正しい暮らしになり、家事に費やす時間が増えました。

旬のものを食べ日々季節を感じる。必ずしも便利なところが良いところとは限りません。

美味しい物を食べたければ手間がかかるのと同じで、充実した素敵な暮らしを送るにも手間は必要なものだと思います。

そうしたこちらでは当たり前の暮らしが、私にとっては劇的な変化となりました。

まだまだ津南生活は初心者で地域の方々から教わる事ばかりですが、少しでも恩返しができるように津南の素敵なシーンをたくさん発信して行けたらと思っています。



第1回定例会まっただ中に「つなん雪祭り」が始まる。夏祭りとは違い冬は誘客祭である。昨年の倍の人数を見込み、前夜祭と本番の二日間に渡り開催された。「ともしび横丁」会場では大人数をどの様に散らすか頭を抱えたが終わってみれば、「原宿みたいだったのし」の笑顔、それも18時になると猫の子一匹いなくなる。スカイランタン会場へ大移動するのだ。バスに乗り遅れた方がチラホラ、おしい鳥踊りをするベエ。「鳥踊り子揃った稲の出穂より良くそろた。明日の片づけ誰がくする」。はあく誰にもさせぬ。このつと雪祭り！帰りのバス中もあつたか談の事と思いたい。それにしてもスゲボウシコスチュウム人気は相変わらずだ。

(中山)



つなん雪まつり
十日町太鼓

編集後記